学校番号	2003

平成 31 年度　理科

教科	理科	科目	化学基礎(1 年)	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	化学基礎「改訂版　化学基礎」　（数研出版）						
副教材等	改訂 ニューステップアップ化学基礎　（東京書籍） スクエア　六訂版　最新図説化学　（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

物質を構成する基本粒子である原子やイオンの成り立ちを理解し､身の回りの物質との関連を考えることが出来るようさまざまな物質、現象に興味を持ち意欲的に学習に取り組んでください。勉強していく上で「覚える」ことは必要ですが、覚えたことを利用して考え、予測し自分の考えを相手に伝えていく力をつけていくうえで、理解し考えることの出来るようにしましょう。

2　学習の到達目標

日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め，目的意識をもって観察・実験などを行い，化学的に探究する能力と態度を育むとともに，化学の基本的な概念や原理・法則を理解し，科学的な見方や考え方を養う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	自然の事物・現象に関心をもち，意欲的にそれらを探究しようとするとともに，科学的態度を身に付けている。	自然の事物・現象の中に問題を見出し，探究する過程を通して，事物を科学的に考察し，導き出した考えを的確に表現している。	観察，実験を行い，基本操作を習得するとともにそれらの過程や結果を的確に記録，整理し，自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	自然の事物･現象について,基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 授業中の積極性 ノートやプリントなどの記述内容 宿題の提出と記述内容 実習・探究活動の取り組み方と記述内容	学習状況の観察 授業中の積極性 ノートやプリントなどの記述内容 宿題の記述内容 実習・探究活動の記述内容	学習状況の観察 授業中の積極性 実習・探究活動の記述内容（特に結果への導き出し方と考察の内容）	学習状況の観察 ノートやプリントなどの記述内容 宿題の提出と記述内容 実習･探究活動の記述内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、各学期ごとに 100 点法で評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	化学と人間生活	・人間生活の中の化学 ・化学とその役割	○ ○				a:日常生活の中で化学がどのように関わっているかを考え、人類の発展にどのように寄与してきたかを知る。 b:物質を構成するものについて理解する c:物質を構成する成分元素を知り、その性質について理解する。 d:物質の状態の違いを理解し講師粒子の熱運動について理解する	学習状況 授業中の積極性 ノート プリント 実験・観察レポート 宿題 実習・探究活動 定期考査
	物質の構成	・純物質と混合物 ・物質とその成分 ・物質の三態と熱運動		○	○	○		
	物質の構成粒子	・原子とその構造 ・イオン ・周期表	○	○	○		a:物質を構成する基本粒子として電子の構造を理解する。 b:イオンの成り立ちと電子配置を理解する。 c:元素の性質の周期性と電子配置との関連を理解する	
	粒子の結合	・イオン結合 ・分子と共有結合 ・分子間にはたらく力 ・共有結合結晶 ・金属結合	○ ○	○	○	○	a:粒子間の結合の仕組みを理解する。 b:結合の種類と物質の性質の関連を理解する。 c:化学結合以外にも粒子間にはたらく力があることを理解する。 d:金属の特徴と結合との関連を理解する。	
二学期	物質量と化学反応式	・原子量・分子量・式量 ・物質量 ・化学反応式と物質量	○	○	○	○	a:原子の質量と原子量との関連を理解する。 b:数の集まりとしての物質量（モル）について理解する。 c: 量的関係、濃度等についての計算力をつける。 d:化学変化における量的な関係について理解する。	

三学期	酸と塩基の反応	・酸・塩基 ・水の電離と水溶液のpH ・中和反応 ・塩	○	○	○	○ ○	a:酸・塩基の定義、性質を理解する。 b:水素イオン濃度とｐＨについて理解する。 c:中和反応について理解し、化学反応式が書けるようにする。 d:中和反応によって生じる塩の性質について理解し反応について考える。	